

令和7年度 第1回大垣市男女共同参画推進審議会 議事録

令和7年6月27日（金）午後1時30分から、令和7年度第1回大垣市男女共同参画推進審議会を大垣市スイトピアセンター学習館4階 男女共同参画活動室において開催した。その内容は次のとおりである。

1 議題

- (1) 大垣市第五次男女共同参画プランにおける令和6年度事業実績について
- (2) 大垣市第五次男女共同参画プランにおける令和7年度事業計画について

2 出欠席の状況

(1) 出席委員（10人）

山 田 武 司	会 長	茂 木 七 香	副会長
栗 栖 崇	委 員	大 橋 奈麻輝	委 員
服 部 淑 子	委 員	橘 洋 子	委 員
野 田 正 興	委 員	木 村 幸 雄	委 員
原 丈 衛	委 員	小 野 八千代	委 員

(2) 欠席委員（5人）

進 俊 彦	委 員	伊 藤 桃 子	委 員
石 井 久美子	委 員	天 野 曉 子	委 員
石 丸 智 之	委 員		

(3) 事務局出席者（4人）

市民活動部長	渋谷 敏
男女共同参画推進室 室長	牧 岡 さつき
男女共同参画推進室 主幹	小 泉 佳 彦
男女共同参画推進室 主事	細 野 未 有

3 傍聴者 1人

（開会 午後1時30分）

事務局	※欠席者の報告及び出席者が過半数に達しているため会議成立の報告 ※審議会公開の報告及び傍聴者の入室許可 ※市民活動部長からあいさつ ※新委員の紹介
-----	--

※以下の進行は、議長である会長に依頼

会長

- ・はじめに、本日の議事録署名者は、大橋委員と原委員にお願いします。
- ・「議題(1) 大垣市第五次男女共同参画プランにおける令和6年度事業実績について」事務局より説明をお願いします。

事務局

<「議題(1) 大垣市第五次男女共同参画プランにおける令和6年度事業実績について」を説明>

会長

- ・ご意見ご質問等ありましたら、お願いします。

委員

- ・18ページですが、目標指数のところでも市からワークライフバランスの働きかけを行った企業数として、令和5年度は100に対して82社で、6年度は100に対して107社ということで、とても増加していますが、アプローチの方法を変えられたとか、何かありましたら教えてください。

事務局

- ・特別に何かを変えたというわけではないですが、できるだけたくさんの企業にということで、従業員数100人以上の市内企業を中心に、ピックアップしアピールさせていただきました。

委員

- ・参加者数が非常に増加している点について、まず冒頭で申し上げますと、フォーラムの方も180名から250名に増えています。同じ質問になりますが、何か特別な努力をされたのでしょうか。また、コロナ禍が明けて徐々に戻りつつあるとの説明もありましたが、何かを実感されているかどうかという点も含めて、教えていただきたいと思います。

事務局

- ・フォーラムでは、基調講演の講師が多くの方の関心に合った内容を提供できたと自負しており、タイムリーな話題であったと感じています。また、昨年度は企業からの自発的な表彰の応募もありました。今年度も積極的にアプローチして多くの参加を呼び掛けてまいります。

会長

- ・昨年度は、事務局の皆様が頑張って実績を上げていただいたことが本当にあると思います。では他にご意見ご質問などありましたらお願いいたします。

委員

- ・7ページの家庭地域生活における男女共同参画の推進で、男性が家庭にも目を向けて参画していけるというのはとても嬉しいことです。働いている身としても、これから男女ともに家事をこなして、仕事もするという世の中になっていくといいと思っております。
- ・それとは別に、男性の育休取得も、様々な企業、そして市としても、推進されていると思います。学校においても男性の育休取得が少しずつ増えてきており、育休を取得する制度は整っていくのですが、一方でその取得をした人の仕事を、残っている人に割り振らなければいけないため、残っている人の負担が増えていきます。
- ・そうすると学校であれば残っている教員に多くの負担がかかるのが実情であります。例えば市として育休取得を推進されて、制度を整えることによって、残って働く者も負担なく仕事に行ける、周りへの負担がないから育休が取得しやすくなる、そのような取り組みがあれば教えてください。

事務局

- ・今、ご指摘のご質問やご意見は、昔からよくある話であり、その中で育休や休職を前提で、何人か人を増やすのは現実的ではありません。いろいろな担当事務があると思いますが、それを、誰でもできるような形にしておくということが、一昔前から比べれば大分変わってきたように思います。誰かが休んだとき、誰でもカバーできる体制を整えようという組織は増えてきました。
- ・もう一つは、専門職だと厳しい部分がありますが、いわゆる非常勤の職員を補充し、意思決定を伴わない事務をやっていただくことで負担を減らしていくなど、そういった対応になっていくのではと思います。
- ・一方、今日、岐阜労働局の方がお見えになりますが、企業は、手当を出すなど報酬や従業員への動機付けの制度を設けることなどを検討されており、国の方でもいろいろ考えてるようです。
- ・いずれにしても皆さんが、女性も男性も含めて、育休を取得するときに、みんなでカバーし合うという意識、管理職も含めて、それを分かち合うということが、やはり重要かと思います。

委員

- ・民間の場合、国の方で両立支援等助成金というものを用意しております。例えば育休を取られた方の代わりに代替要員として新規で雇った場合に助成金を支給するとか、育休取得の業務を代替する周囲の労働者に

対し手当を支給した場合に助成するとか、そうした制度もございますので、国としても周知していきたいと考えております。

会長

- ・業務のシェアについて、日常的に業務を共有することと非常勤採用について検討するとの意見がありました。また、両立支援の助成金制度について情報提供がありました。どの企業や団体でも育休取得とその間の業務継続の両立は難しい課題ですが、育休は通常予測可能なものであるため、事前に準備することが重要です。そのためには、日頃からの業務シェアや、各種助成金の活用について、日常的に確認していくことが大切だと思われます。皆様のご意見に感謝いたします。他にご意見やご質問がありましたら、お願いいたします。

委員

- ・26ページの③「PRチラシを配布」の件について、専門学校には200枚のチラシを配布し、岐阜協立大学にはチラシではなく、PDFでメール配信したとのことでしたが、学校には、本当に多くの機関から100～200枚程度のチラシが届きます。学生全員に配布するには不十分であり、特定の学年だけに配るのも難しい状況であります。また、最近の学生たちは、紙媒体の情報を積極的に取ることはしません。
- ・本学としても、コロナ禍をきっかけに電子データでの配信システムが整備されたため、今後はPDFデータでの配信が資源の節約にもなり効果的であると思います。
- ・実際に紙のチラシを置いておいても学生が持っていくことは少ないため、今後はデータでの受け取りと配信の形式が望ましいと思います。

事務局

- ・こちらの事業は、保健センターの事業であり、岐阜協立大学については、全学生に対してのメール配信と聞いております。
- ・大垣女子短大でもチラシの配布ではなく、データで全学生に一斉配信が可能となれば、市としては大変ありがたいことであります。

会長

- ・岐阜協立大学では、基本的には紙を使わず、全てデータ配信という形になっております。ただデータ配信は、毎日のように学生に行っていることもあり、何かしら掲示用のポスターを校内に貼り、詳細はデータ配信で確認してもらうのが一番効果的で分かりやすいかもしれません。学生は、紙はなかなか持っていないですし、全部ゴミになってしまうこともあると聞きます。

	・他に何かございましたらお願いいたします。 他に、意見なしということですので、次に「議題(2) 第五次男女共同参画プランにおける令和7年度事業計画について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<「議題(2) 第五次男女共同参画プランにおける令和7年度事業計画について」説明>
会長	・ご意見ご質問等ありましたら、お願いします。
委員	・5 ページの男性の家事応援講座のところで、そば打ち体験講座以外に、夫婦で協力して家事シェアをする方法を学ぶ講座を現在検討中とのことでしたが、何かテーマなどでもいいので具体的な内容を教えてください。
事務局	・現在計画中であり、昨年に引き続き、片付けや掃除など、できるだけ夫婦や親子で参加できるような企画を考えているところでございますが、委員の皆様からも、何かお知恵をお借りできれば大変ありがたいと思います。
委員	・先ほど昨年度実績の中で、片付けスキルアップ講座をされていましたが、どのように家事シェアできるかといった中で、自分自身の経験から家で片付けを手伝っても、妻からは感謝されたことはありません。 ・要するに、女性が求めているニーズと合致しているのかが、すごく大事だと思いました。女性という言い方も良くないかもしれませんが、パートナーが本当に求めているニーズと合致しているかどうか大事だと考えます。パートナーが「これをやってもらって助かった。」と感謝できるようなポイントに合致していることが最も望ましいため、その観点からお尋ねした次第です。
会長	・男性が手伝うという言葉自体、本当はよくないわけです。本来は、男女がともに家事を担うべきものであり、女性が主にやって男性が手伝うという考えも本当は良くないのですが、難しいところです。 ・このあたりは、夫婦でとらえ方が違うと思いますし、家事を主に担っている方のやり方もありますので、なかなか手を出しにくい部分ではある

ところですが、委員の皆さんから、家事シェアにつきましてアドバイスや、ご自分の経験を踏まえて何かご意見などをお願いしたいと思えます。

委員

- ・共働き世帯が多い私の周囲では、家事分担に関する話題がよく出ます。男性が家事を手伝おうとして叱られ、次から何をすべきか分からなくなるケースもあるようです。特に多く聞かれるのは料理に関することで、休日の朝食を夫が準備してくれることに感謝している友人が何人かいます。土日にゆっくり寝たいところを、夫が早起きして卵焼きを作ったり、パンを焼いたり、コーヒーを入れたりするだけでも、朝の時間が充実し感謝しているとの声があります。このような話を聞くと、皆が「うちもやって欲しい」と思うようです。些細なことですが、朝食と一緒に作ったり作ってもらったりして朝にゆとりができることが、心の余裕や家族の絆につながるのではないかと感じました。

会長

- ・大変参考になりました。また委員の皆様から、いいアイデアがありましたら事務局にお伝えいただきたいと思います。

委員

- ・本日配布された、男性の家事応援講座のチラシを見た際に、また蕎麦打ち講座の開催案内でした。私の認識では、蕎麦打ちや美味しいコーヒーの淹れ方などは定年退職した男性向けのイメージがあり、本来のターゲット層とは異なるのではないかと感じました。
- ・例えば、働くお母さんの負担が大きい夏休み期間に、お父さんと小学生の子どもと一緒に作れる昼食メニューや、親子でのお菓子作りなどが良いのではないかと考えます。
- ・市の方針として夫婦での参加を想定されているとのことですが、そうすると参加者が高齢夫婦に偏る可能性があります。もう少し若い世代をターゲットにした企画を検討していただければと思います。

会長

- ・小さな子どもがいる家庭であれば、子どものために、子どもと一緒に食事作りなどを勉強しに行くこともあるかもしれません。そのような意味では、若い世代へのアプローチは大切だと思いました。
- ・また、事務局から説明のあった「男（ひと）と女（ひと）とのかがやきまちづくり表彰」についてですが、目標を2件に設定していることから、新たな候補者の掘り起こしが必要です。委員の皆様には、推薦した

	い企業や個人がある場合は、直接声をかけていただくか、事務局へ情報提供をしていただきたいと思います。 ・次に、キャリア形成に関する講座の参加者数が、目標値に届いていませんが、委員の皆様からアイデア等がございましたら、お願いしたいと思います。
委員	・今年度、大垣女子短期大学では、本学の女性学という授業の一環で、DV防止の講義に市から講師を派遣していただく予定です。 ・キャリア形成に関する女性の就労支援について、学生は現在就労していないものの、早い段階からキャリアについて考える機会を設けることが重要だと考えています。私が担当している女性学の授業では、本学4学科の教員と外部講師によるゲスト講習を交えた形式で実施しています。 ・この授業での来年度の授業計画において、キャリアについての講座を1コマ90分設け、この施策の趣旨に沿った内容で外部講師に来ていただくことを検討することも可能です。 ・授業の一環として実施することで一定数の参加者が確保でき、また教員が話すよりも外部の社会人の方からの話の方が学生に与える影響力もあり伝わる内容も異なります。このような形で市と相談しながら計画を進めることができるのではないかと考えています。
事務局	・貴重なご提案であり、前向きに検討してまいります。
会長	・これまで40代後半から60代ということでしたが、若い年代をターゲットに見直すということでもよろしいでしょうか？
事務局	・広い世代の方に、キャリアについて考える機会を提供していきたいと思っております。
会長	・岐阜協立大学には、女性学のようなものではありませんが、学生向けのキャリア支援であれば、キャリア支援課主催の講座開催など協力ができるかもしれません。その際には、私にお声かけください。
委員	・6ページに教職員保育者を対象とした研修の開催というのがございます。私はこの研修について存じておりませんが、小中学校の教員には周知されているということですね。

	・木曜日の14時半からというこの時間設定を考えたときに、まだ子どもが授業をしている時間であり、参加するには厳しい状態ですが、何かの研修の際に、この講演を入れていただいたということですね。
事務局	・はい、そうです。
委員	・分かりました。コロナ禍において、様々な企業や団体がオンラインで講座を提供していただいております、私自身も無料のものを中心に幅広く視聴してきました。個人的には、そういったアーカイブ動画を公開していただけると、研修会に参加できない場合でも、休日などに視聴することができるため便利だと感じています。今後、ぜひご検討いただければと思います。
会長	・研修などを設定していただき、参加したいと思っても出席できない方もみえるかと思います。特に講演会などで、興味関心があるものの仕事で参加できない方もいらっしゃるかと思いますので、今、委員さんから提案がありましたように、その動画をアーカイブとして保存し、後日視聴できるような形で配信することは可能なのでしょうか？
事務局	・先ほどの家事シェア講座やキャリア講座につきましても、会場に出向いていただき受講していただくことも必要ではありますが、このような時代ですので、ユーチューブ配信などの導入を検討していきたいと思います。
会長	・技術的なことや予算的なこともあり、すぐには難しいかもしれませんが、今後ご検討をお願いします。
委員	・昨年度の実績を見ると、講座の参加者数が市の人口と比較して非常に少ないことが気になります。関心の低さかPR不足が原因かと思われます。社会福祉推進員や老人クラブ「かがやきクラブ」などの大きな団体、地区社協や市の社協といった組織とのコラボレーションで、もっとPRを強化することが重要ではないでしょうか。 ・昨年度実績の報告にDV防止についての講演を民生委員の会議に合わせて実施したと記載されておりました。民生委員も大切ですが、福祉推進員など1,000人以上の規模を持つ団体との連携も検討すべきです。そう

	いった大きな会合の機会に参加させていただくことで、より効果的なPRになるのではないかと考えます。 ・私も社協の総務会に参加していますが、講座を開催しても人が集まりにくい状況です。自主的な講座参加が年々減少しているのは、忙しさからなのか、関心の低さなのか、PR不足なのか判断が難しいところです。 ・社協の力を借りてこの活動を拡大できればと思います。公共機関が主催する場合は各団体を集めれば参加者は確保できますが、いつも同じような顔ぶれになっています。異なる方向からのPRや、様々な団体とコラボレーションなど、新たなアプローチの検討をお願いします。
会長	・社会福祉協議会とコラボとのご提案いただきましたが、いかがでしょうか。
委員	・費用対効果について言及されることは多いですが、前向きな捉え方をすれば、より多くの方々に参加していただけるような効果的なPR活動の拡充や、先ほど委員のお一人の方がおっしゃったように参加しやすい環境づくりなど、何らかの方法論を検討していくことが重要だと考えます。 ・社会の多様化が進む中で参加率の向上は確かに難しい課題ですが、何もしないよりは前進につながるという観点から私たちも検討を進めており、何かあれば情報提供させていただきたいと思っております。
会長	・ぜひ、ご協力をお願いします。 ・これで議事が全て終了いたしました。委員の皆様から活発なご発言いただきましたが、他にご意見があればお願いします。
委員	・昨年度の事業実績の13ページに掲載いただいておりますが、昨年、太平洋工業、日本イベント企画と栄光堂ホールディングスが認定を取得された際、市役所で、認定交付式を開催させていただき、ありがとうございました。引き続き、大垣市の企業が認定などを取得される場合には、連携を図ってまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。
委員	・先ほど、私が家事を手伝った際に妻から感謝されないと申し上げた時点で、どこかで「家事は本来女性がするものであり、男性はそれを手伝う

もの」という無意識の偏見が自分の発言に表れていたことに気づき、市民委員として恥ずかしく思いました。この場を借りてお詫びします。

会長

- ・ 本日は、多くの活発な意見をいただき、ありがとうございます。では、これで議事を終了し、議長の職を降りさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局

- ・ 委員の皆様には、貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。本日の議事録につきましては、議事録署名後、大垣市ホームページにて公開させていただきますので、ご承知おきください。
- ・ 以上をもちまして、令和7年度 第1回大垣市男女共同参画推進審議会を終了します。

(閉会時刻 午後 2 時 50 分)